

○指導計画

時間	段階	主な学習内容	ねらい
1	オリエンテーション	○授業の流れや授業における約束事の確認 ○ハンドボールの特性や学習意義についての理解 ○チーム分け、チームカードの作成 ○身体ほぐし(全身ジャンケン、あっち向いてホイ、タッチ相撲、片足相撲、赤と白鬼ごっこ)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や目的、学習方法を理解する。 ・自分の技能レベルを知ることができる。 ・練習や運動をする上でのルールや健康・安全について理解することができる。 ・チームという1つの集団としての動きを意識しながら活動することができる。
2	学習Ⅰ	○ボールハンドリング(1人ボール1個、11種類) ○ドリブルハンドリング ○基礎ゲーム「四角鬼」	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の狙ったところにボール操作することができる。 ・動きの中でボール操作をすることができる。 ・ボールを相手に奪われないようにパスやドリブルなどでキープすることができる。 ・練習の際に仲間にアドバイスをしたり、課題解決に向けて仲間に助言したりすることができる。 ・健康・安全に気を配り体調の変化や用具の扱い方、練習場所などの自己や仲間の安全に留意する。
3		○パス練習①(2人1組、7種類) ○パス練習②(チーム全員、ニックネームパス、「せーの!」で投げ上げキャッチ) ○基礎ゲーム「追いかけてこ」	
4		○突破ゲーム ○5パス&ヒティングゲーム①	
5	学習Ⅱ	○攻防の練習(3人1組) ○5パス&ヒティングゲーム②	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲を見ながらプレイし、ボールを受けてからパスを出すまでの判断をはやくする ・パスを受けるために、空いたスペース(空間)を見つけて動くことができる。 ・チェックシートを活用しながら仲間の動きを記録し、分析することができる。 ・練習の際に仲間にアドバイスをしたり、課題解決に向けて仲間に助言したりすることができる。 ・健康・安全に気を配り体調の変化や用具の扱い方、練習場所などの自己や仲間の安全に留意する。
6		○速攻の練習(ハーフコート・オールコート)	
7		○タッチダウンゲーム	
8		○オールアタックゲーム	
9	学習Ⅲ	○リーグ戦(5対5、作戦タイム2分、追跡記録)	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで作戦を立て、ゲームに生かす ・チェックシートを活用しながら仲間の動きを分析し、的確なアドバイスをすることができる。
10			

東中の研究授業についての成果と課題

- ・ゲーム①の「突破ゲーム」では、5対3で攻撃有利な状態で、ゴール前の空間に走り込む縦への動きが多く見られた。ドリブルなしだったので、運動の苦手な生徒や女子も生き生きと活動していた。
- ・ゲーム②の「タッチダウンゲーム」では、4対4になったので、縦への速攻が多く失敗を繰り返してしまった。真ん中にディフェンスを引きつけサイドからの攻撃など、仲間と連携して空間を作り出すなどの動きを習得させるために有効なゲームであった。
- ・全体としては、目指すゲームの様相に近づくために工夫したゲームは有効であった。分析シートは、自分の動きがよくわかりチームでの話し合いを活発に進めるために有効であった。シートのおかげで、作戦を工夫したり改善したりするきっかけ作りにもなった。反面、対話が進まないチームや議論が深まらないチームもあったので、ボールを持った時が●、フリーの時が○という工夫があったら更に生徒が使いやすいシートになるという意見が出された。

